

いきいきふっつ障がい者プラン

第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)

【令和6年度(2024年度)～令和8年度(2026年度)】

【素案】

令和5年(2023年)11月時点

富津市

(新)

いきいきふっつ障がい者プラン

第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)

【令和6年度(2024年度)～令和8年度(2026年度)】

【最終案】



令和6年(2024年)2月時点

富津市

表紙

Uni-
Voice
コード

第4章 施策の展開

1. 成果目標と活動指標

(1) 施設入所者の地域生活への移行

①前期計画の成果と課題

前期計画では、障がいのある人の地域生活への移行を進めるという観点から、令和元年度(2019年度)末時点の施設入所者(54人)のうち、令和5年度(2023年度)までに地域生活に移行する人の目標値を設定するとともに、施設入所者の削減を図るよう目標を設定しました。

【前期計画の成果目標】

項目	基準値(施設入所者数) 令和元年度末(2019年度末)	目標値 令和5年度末(2023年度末)
地域生活移行者数		4人
施設入所者数	54人	53人

前期計画の策定時は、施設から地域への生活に移行した件数はありませんでしたが、理由としては、施設入所者のうち、本人の状態として身体障がいや障がい特性等から、グループホームなど地域で生活するための基盤や支援などの受入先が少ないこと、本人が住み慣れた施設から地域への生活に移行することへの抵抗や、終の棲家を想定していた保護者の地域移行への理解が得られない状況があることがあげられます。

このため、前期計画では施設入所支援事業所や相談支援事業所、富津市基幹相談支援センター(えこ)等の関係機関と連携し、課題の共有の場を設けて個々の具体的対応策の検討を行うことで、今年度までに目標値である4人が地域への生活に移行しました。一方で新たな施設入所のニーズがあり、新規入所者がいたことから、施設入所者数は目標値を達成できていません。

【施設入所者数等の状況】

項目	令和2年度 (2020年度) 実績	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み	実績累計
施設入所者数(人)	55	55	54	54	
地域生活移行者数(人)	0	1	2	1	4
その他退所者数(人)	0	4	1	1	6
新規入所者(人)	1	5	2	2	10
施設入所者削減数(人)	▲1	0	1	0	0

第4章 施策の展開

1. 成果目標と活動指標

(1) 施設入所者の地域生活への移行

①前期計画の成果と課題

前期計画では、障がいのある人の地域生活への移行を進めるという観点から、令和元年度(2019年度)末時点の施設入所者(54人)のうち、令和5年度(2023年度)までに地域生活に移行する人の目標値を設定するとともに、施設入所者の削減を図るよう目標を設定しました。

【前期計画の成果目標】

項目	基準値(施設入所者数) 令和元年度末(2019年度末)	目標値 令和5年度末(2023年度末)
地域生活移行者数		4人
施設入所者数	54人	53人

前期計画の策定時は、施設から地域への生活に移行した件数はありませんでしたが、理由としては、施設入所者のうち、本人の状態として身体障がいや障がい特性等から、グループホームなど地域で生活するための基盤や支援などの受入先が少ないこと、本人が住み慣れた施設から地域への生活に移行することへの抵抗や、終の棲家を想定していた保護者の地域移行への理解が得られない状況があることがあげられます。

このため、前期計画では施設入所支援事業所や相談支援事業所、富津市基幹相談支援センター(えこ)等の関係機関と連携し、課題の共有の場を設けて個々の具体的対応策の検討を行うことで、今年度までに目標値である4人が地域への生活に移行しました。一方で新たな施設入所のニーズがあり、新規入所者がいたことから、施設入所者数は目標値を達成できていません。

【施設入所者数等の状況】

項目	令和2年度 (2020年度) 実績	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み	実績累計
施設入所者数(人)	55	55	54	54	
地域生活移行者数(人)	0	1	2	2	5
その他退所者数(人)	0	4	1	1	6
新規入所者(人)	1	5	2	3	11
施設入所者削減数(人)	▲1	0	1	0	0

②今期計画における取り組み

国の基本指針に即し、障がいのある人の地域生活への移行を進める観点から、施設入所者のうち、今後自立訓練等を利用し、グループホーム、一般の住宅等へ移行する地域生活者数及び施設入所者の削減に係る目標を設定します。

目標の達成に向け、引き続き課題共有の場で施設入所支援事業所や相談支援事業所、富津市基幹相談支援センター（えこ）等の関係機関と連携し、個々の具体的対応策の検討を行うとともに、地域移行が図られるよう努めます。

また、関係機関と施設とで地域移行する対象者を共有するにあたり、対象者の優先順位を判断するための基準を設け、地域移行に向けた準備を進めていきます。

【成果目標】

項目	目標値 令和8年度末 (2026年度末)	目標値設定にあたっての考え方
地域生活移行者数	4人	国の基本指針に即し、令和8年度(2026年度)までの3か年で地域生活に移行する人の数を、令和4年度(2022年度)末時点の施設入所者(54人)の6%以上が地域生活へ移行する。
施設入所者数	51人	国の基本指針に即し、令和8年度(2026年度)末時点で、令和4年度(2022年度)末時点の施設入所者(54人)から5%以上削減する。

成果目標の達成のための活動指標は以下のとおりです。

【活動指標】

項目	計画値
訪問系サービス(居宅介護等)の利用者数、利用時間数	本章3.(1)④に記載
生活介護の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
自立訓練(機能訓練・生活訓練)の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
就労選択支援の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
就労移行支援の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
就労継続支援A型・B型の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
短期入所(福祉型、医療型)の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
自立生活援助の利用者数	本章3.(3)④に記載

②今期計画における取り組み

国の基本指針に即し、障がいのある人の地域生活への移行を進める観点から、施設入所者のうち、今後自立訓練等を利用し、グループホーム、一般の住宅等へ移行する地域生活者数及び施設入所者の削減に係る目標を設定します。

目標の達成に向け、引き続き課題共有の場で施設入所支援事業所や相談支援事業所、富津市基幹相談支援センター（えこ）等の関係機関と連携し、個々の具体的対応策の検討を行うとともに、地域移行が図られるよう努めます。

また、関係機関と施設とで地域移行する対象者を共有するにあたり、対象者の優先順位を判断するための基準を設け、地域移行に向けた準備を進めていきます。

【成果目標】

項目	目標値 令和8年度末 (2026年度末)	目標値設定にあたっての考え方
地域生活移行者数	4人	国の基本指針に即し、令和8年度(2026年度)までの3か年で地域生活に移行する人の数を、令和4年度(2022年度)末時点の施設入所者(54人)の6%以上が地域生活へ移行する。
施設入所者数	51人	国の基本指針に即し、令和8年度(2026年度)末時点で、令和4年度(2022年度)末時点の施設入所者(54人)から5%以上削減する。

成果目標の達成のための活動指標は以下のとおりです。

【活動指標】

項目	計画値
訪問系サービス(居宅介護等)の利用者数、利用時間数	本章3.(1)④に記載
生活介護の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
自立訓練(機能訓練・生活訓練)の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
就労選択支援の利用者数	本章3.(2)④に記載
就労移行支援の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
就労継続支援A型・B型の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載
就労定着支援の利用者数	本章3.(2)④に記載
短期入所(福祉型、医療型)の利用者数、利用日数	本章3.(2)④に記載

項目	計画値
共同生活援助の利用者数	本章3.(3)④に記載
地域移行支援の利用者数	本章3.(4)④に記載
地域定着支援の利用者数	本章3.(4)④に記載
施設入所支援の利用者数	本章3.(3)④に記載

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

① 前期計画の成果と課題

前期計画においては、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、県の目標を踏まえつつ、地域における保健、医療、福祉の連携体制の強化を進め、早期の地域移行の促進を図ってきました。

なお、本市では保健、医療・福祉関係者による協議の場について、市単独での設置は困難であることから、君津圏域の木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の4市（以下、「君津地域4市」といいます。）が共同で精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場となる「君津地区四市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議」を令和3年度（2021年度）に設置し、同システム構築に必要な情報共有を進めました。

【保健、医療・福祉関係者による協議の場の開催状況】

項目	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み
保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数(回/年)	2	3	3
同協議の場への関係者*の参加者数(人/年)	0	1	0
同協議の場における活動計画と目標設定回数(回/年)	1	1	1
同協議の場における評価の実施回数(回/年)	-	1	1

※保健、医療（精神科、精神科以外の医療機関別）、福祉、介護、当事者、家族等の関係者

② 今期計画における取り組み

精神障がいのある人の地域生活への移行を推進するためには、病院や障害福祉サービス事業所等の多職種と協議の場を通じて包括的な支援体制を構築するとともに、個別のニーズに寄り添い、本人の意思が尊重される適切な支援を可能とする仕組みが必要となることから、引き続き連携体制の強化に取り組み、地域共生社会の実現を図ります。

項目	計画値
自立生活援助の利用者数	本章3.(3)④に記載
共同生活援助の利用者数	本章3.(3)④に記載
計画相談支援の利用者数	本章3.(4)④に記載
地域移行支援の利用者数	本章3.(4)④に記載
地域定着支援の利用者数	本章3.(4)④に記載
施設入所支援の利用者数	本章3.(3)④に記載

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

① 前期計画の成果と課題

前期計画においては、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、県の目標を踏まえつつ、地域における保健、医療、福祉の連携体制の強化を進め、早期の地域移行の促進を図ってきました。

なお、本市では保健、医療・福祉関係者による協議の場について、市単独での設置は困難であることから、君津圏域の木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の4市（以下、「君津地域4市」といいます。）が共同で精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場となる「君津地区四市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議」を令和3年度（2021年度）に設置し、同システム構築に必要な情報共有を進めました。

【保健、医療・福祉関係者による協議の場の開催状況】

項目	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み
保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数(回/年)	2	3	3
同協議の場への関係者*の参加者数(人/年)	0	1	0
同協議の場における活動計画と目標設定回数(回/年)	1	1	1
同協議の場における評価の実施回数(回/年)	-	1	1

※保健、医療（精神科、精神科以外の医療機関別）、福祉、介護、当事者、家族等の関係者

② 今期計画における取り組み

精神障がいのある人の地域生活への移行を推進するためには、病院や障害福祉サービス事業所等の多職種と協議の場を通じて包括的な支援体制を構築するとともに、個別のニーズに寄り添い、本

【就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数等の状況】

項目	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み
就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	6人	3人	5人
就労移行支援事業を通じた一般就労への移行者数	2人	0人	1人
就労継続支援A型事業を通じた一般就労への移行者数	0人	1人	0人
就労継続支援B型事業を通じた一般就労への移行者数	4人	2人	4人
就労移行支援事業等を通じた一般就労移行者の 就労定着支援事業の利用率	100.0%	66.7%	80.0%
就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所の割合	100.0%	100.0%	100.0%

②今期計画における取り組み

本市の産業特性を活かし、引き続き農福連携事業、又は農林漁業の第6次産業化の取り組みを中心として、障がい者雇用の創出等の検討を進めていきます。

また、雇用する側への支援として、富津市障害者総合支援協議会の就労支援部会と連携し、障がい者雇用に関する企業向けの研修などを実施し、障がい者雇用の創出等が進むよう努めていきます。

さらに、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行した障がいのある人が、適切な支援を受けることができるよう、就労定着支援事業所との連携強化を図り、利用率の向上に努めます。

【成果目標】

項目	目標値 令和8年度末 (2026年度末)	目標値設定にあたっての考え方
就労移行支援事業等を通じた 一般就労への移行者数	9人	国の基本指針に即し、令和3年度(2021年度)実績(6人)の1.28倍以上とする。
就労移行支援事業を通じた 一般就労への移行者数	3人	国の基本指針に即し、令和3年度(2021年度)実績(2人)の1.31倍以上とする。
就労継続支援A型事業を通じた 一般就労への移行者数	1人	令和3年度(2021年度)実績が0人のため、1人の利用を目標とする。
就労継続支援B型事業を通じた 一般就労への移行者数	5人	国の基本指針に即し、令和3年度(2021年度)実績(4人)の1.28倍以上とする。
就労移行支援事業利用終了者に占める 一般就労へ移行した人の割合が5割以上の事業所	50%以上	国の基本指針を踏まえ、就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所を全体の50%以上とする。

【就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数等の状況】

項目	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み
就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	6人	3人	6人
就労移行支援事業を通じた一般就労への移行者数	2人	0人	1人
就労継続支援A型事業を通じた一般就労への移行者数	0人	1人	1人
就労継続支援B型事業を通じた一般就労への移行者数	4人	2人	4人
就労移行支援事業等を通じた一般就労移行者の 就労定着支援事業の利用率	100.0%	66.7%	66.7%
就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所の割合	100.0%	100.0%	100.0%

②今期計画における取り組み

本市の産業特性を活かし、引き続き農福連携事業、又は農林漁業の第6次産業化の取り組みを中心として、障がい者雇用の創出等の検討を進めていきます。

また、雇用する側への支援として、富津市障害者総合支援協議会の就労支援部会と連携し、障がい者雇用に関する企業向けの研修などを実施し、障がい者雇用の創出等が進むよう努めていきます。

さらに、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行した障がいのある人が、適切な支援を受けることができるよう、就労定着支援事業所との連携強化を図り、利用率の向上に努めます。

【成果目標】

項目	目標値 令和8年度末 (2026年度末)	目標値設定にあたっての考え方
就労移行支援事業等を通じた 一般就労への移行者数	10人	国の基本指針に即し、令和3年度(2021年度)実績(6人)の1.28倍以上とする。
就労移行支援事業を通じた 一般就労への移行者数	3人	国の基本指針に即し、令和3年度(2021年度)実績(2人)の1.31倍以上とする。
就労継続支援A型事業を通じた 一般就労への移行者数	1人	令和3年度(2021年度)実績が0人のため、1人の利用を目標とする。
就労継続支援B型事業を通じた 一般就労への移行者数	6人	国の基本指針に即し、令和3年度(2021年度)実績(4人)の1.28倍以上とする。
就労移行支援事業利用終了者に占める 一般就労へ移行した人の割合が5割以上の事業所	50%以上	国の基本指針を踏まえ、就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所を全体の50%以上とする。

【障害福祉サービス等の質を向上させるための取り組みの状況】

項目	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み
県が実施する研修会への延べ参加者数(人/年)	17	13	9
障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の事業所との共有・指導(件/年)	3	0	1

②今期計画における取り組み

県が実施する研修に積極的に参加し、障害福祉サービス等に関する理解を深めるとともに、その提供が適切に行われるよう取り組みます。

また、「障害者自立支援審査支払等システム」等による審査結果を分析し、その内容を事業所や近隣自治体等と共有することで、適切な支払いに繋がるように努めていきます。

さらに、障がい福祉事業に関する法律の改正があった際は、適切な障害福祉サービスが提供されるよう周知及び指導できる体制の整備を図ります。

【成果目標】

項目	目標値 令和8年度末 (2026年度末)	目標値設定にあたっての考え方
障害福祉サービス等の質を向上するための取り組みを実施するための体制構築	情報共有・研修の場の維持	情報共有・研修の場を維持するとともに、国の基本指針を踏まえ、下記、活動指標の取り組みを通じて障害福祉サービス等の質の向上を図る。

成果目標の達成のための活動指標は以下のとおりです。

【活動指標】

項目	令和6年度 (2024年度) 計画値	令和7年度 (2025年度) 計画値	令和8年度 (2026年度) 計画値
県が実施する研修会への延べ参加者数(人/年)	16	24	24
障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の事業所との共有・指導(件/年)	1	2	2

【障害福祉サービス等の質を向上させるための取り組みの状況】

項目	令和3年度 (2021年度) 実績	令和4年度 (2022年度) 実績	令和5年度 (2023年度) 実績見込み
県が実施する研修会への延べ参加者数(人/年)	17	13	9
障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の事業所との共有・指導(件/年)	3	0	2

②今期計画における取り組み

県が実施する研修に積極的に参加し、障害福祉サービス等に関する理解を深めるとともに、その提供が適切に行われるよう取り組みます。

また、「障害者自立支援審査支払等システム」等による審査結果を分析し、その内容を事業所や近隣自治体等と共有することで、適切な支払いに繋がるように努めていきます。

さらに、障がい福祉事業に関する法律の改正があった際は、適切な障害福祉サービスが提供されるよう周知及び指導できる体制の整備を図ります。

【成果目標】

項目	目標値 令和8年度末 (2026年度末)	目標値設定にあたっての考え方
障害福祉サービス等の質を向上するための取り組みを実施するための体制構築	情報共有・研修の場の維持	情報共有・研修の場を維持するとともに、国の基本指針を踏まえ、下記、活動指標の取り組みを通じて障害福祉サービス等の質の向上を図る。

成果目標の達成のための活動指標は以下のとおりです。

【活動指標】

項目	令和6年度 (2024年度) 計画値	令和7年度 (2025年度) 計画値	令和8年度 (2026年度) 計画値
県が実施する研修会への延べ参加者数(人/年)	16	24	24
障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の事業所との共有・指導(件/年)	1	2	2

【活動目標】

項目	令和5年度末 (2023年度末)	令和8年度末 (2026年度末)目標
市内の居宅介護サービス事業所数	7	9
市内の重度訪問介護サービス事業所数	7	9
市内の訪問入浴サービス事業所数	3	3

(2) チャレンジドオフィスの実施・運用

①現状と課題

一般就労移行者の拡大に向け、市では、令和3年度(2021年度)に「チャレンジドオフィス」を実施している近隣市に視察に行き、現状と課題を確認し、令和4年度(2022年度)には、「チャレンジドオフィス」実施に向けて富津市障害者総合支援協議会就労支援部に意見照会を行い、「チャレンジドオフィスふつつ設置・運営要領」案を作成しました。

「チャレンジドオフィス」については、早期に実施可能と結論できたため、令和6年度(2026年度)からの「チャレンジドオフィスふつつ」実施を目指し、庁内で準備、調整を進めています。

今後は人事担当課と実施に向けた課題や、その課題を解決するための対応方法を検討し、随時協議を実施していく必要があります。

②今期計画における取り組み

市が一定期間会計年度任用職員として採用し、日々の業務を通じて就労スキルやマナーの向上、勤怠の安定を図ることにより、社会人としての行動習得を目指し、その職務経験を活かすことで一般就労を円滑に行えることを目的とした「チャレンジドオフィスふつつ」の実施を目指します。

また、今後「チャレンジドオフィスふつつ」を実施した中で生じた課題や、その課題を解決するための支援方法を検討したり、民間企業等への就労を移行するための支援について、人事担当課や関係機関と連携・協議の上、「チャレンジドオフィスふつつ」の運用が継続できるよう支援していきます。

【活動目標】

項目	令和8年度末(2026年度末)目標
チャレンジドオフィスふつつによる採用延べ人数(人)	3

【活動目標】

項目	令和5年度末 (2023年度末)	令和8年度末 (2026年度末)目標
市内の居宅介護サービス事業所数	7	9
市内の重度訪問介護サービス事業所数	7	9
市内の訪問入浴サービス事業所数	3	3

(2) チャレンジドオフィスの実施・運用

①現状と課題

一般就労移行者の拡大に向け、市では、令和3年度(2021年度)に「チャレンジドオフィス」を実施している近隣市に視察に行き、現状と課題を確認し、令和4年度(2022年度)には、「チャレンジドオフィス」実施に向けて富津市障害者総合支援協議会就労支援部に意見照会を行い、「チャレンジドオフィスふつつ設置・運営要領」案を作成しました。

「チャレンジドオフィス」については、早期に実施可能と結論できたため、令和6年度(2024年度)からの「チャレンジドオフィスふつつ」実施を目指し、庁内で準備、調整を進めています。

今後は人事担当課と実施に向けた課題や、その課題を解決するための対応方法を検討し、随時協議を実施していく必要があります。

②今期計画における取り組み

市が一定期間会計年度任用職員として採用し、日々の業務を通じて就労スキルやマナーの向上、勤怠の安定を図ることにより、社会人としての行動習得を目指し、その職務経験を活かすことで一般就労を円滑に行えることを目的とした「チャレンジドオフィスふつつ」の実施を目指します。

また、今後「チャレンジドオフィスふつつ」を実施した中で生じた課題や、その課題を解決するための支援方法を検討したり、民間企業等への就労を移行するための支援について、人事担当課や関係機関と連携・協議の上、「チャレンジドオフィスふつつ」の運用が継続できるよう支援していきます。

【活動目標】

項目	令和8年度末(2026年度末)目標
チャレンジドオフィスふつつによる採用延べ人数(人)	3

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
居宅介護 (ホームヘルプ)	利用時間 (時間/月)	計画値	1,505	1,566	1,626	1,391	1,427	1,463
		実績	1,316	1,254	1,355			
	利用人数 (人/月)	計画値	99	103	107	77	79	81
		実績	77	73	75			
重度訪問介護	利用時間 (時間/月)	計画値	0	184	368	1,601	1,601	1,849
		実績	217	769	1,274			
	利用人数 (人/月)	計画値	0	1	2	3	3	4
		実績	2	3	3			
同行援護	利用時間 (時間/月)	計画値	88	113	151	74	74	86
		実績	53	55	74			
	利用人数 (人/月)	計画値	7	9	12	6	6	7
		実績	5	6	6			
行動援護	利用時間 (時間/月)	計画値	14	14	14	0	0	5
		実績	0	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値	3	3	3	0	0	1
		実績	0	0	0			
重度障害者等 包括支援	利用時間 (時間/月)	計画値	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

訪問系サービスの充実、本章2.(1)(居宅サービスの体制整備)で述べたとおり今期計画の重点施策として取り組む内容であり、安定した人材の確保を継続するための方策を検討していくとともに、引き続き障害福祉サービスへの事業参入を働きかけ、事業所の確保に努めます。ただし、重度障害者等包括支援については、県内に事業所がなく、ニーズに対応することができない状況であることから、

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
居宅介護 (ホームヘルプ)	利用時間 (時間/月)	計画値	1,505	1,566	1,626	1,405	1,442	1,478
		実績	1,316	1,254	1,369			
	利用人数 (人/月)	計画値	99	103	107	77	79	81
		実績	77	73	75			
重度訪問介護	利用時間 (時間/月)	計画値	0	184	368	1,601	1,601	1,849
		実績	217	769	1,289			
	利用人数 (人/月)	計画値	0	1	2	3	3	4
		実績	2	3	3			
同行援護	利用時間 (時間/月)	計画値	88	113	151	76	76	84
		実績	53	55	76			
	利用人数 (人/月)	計画値	7	9	12	9	9	10
		実績	5	6	9			
行動援護	利用時間 (時間/月)	計画値	14	14	14	0	0	5
		実績	0	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値	3	3	3	0	0	1
		実績	0	0	0			
重度障害者等 包括支援	利用時間 (時間/月)	計画値	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

訪問系サービスの充実、本章2.(1)(居宅サービスの体制整備)で述べたとおり今期計画の重点施策として取り組む内容であり、安定した人材の確保を継続するための方策を検討していくとともに、引き続き障害福祉サービスへの事業参入を働きかけ、事業所の確保に努めます。ただし、重度障害者等包括支援については、県内に事業所がなく、ニーズに対応することができない状況であることから、

短期入所（福祉型）については、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所が受入れを制限していた影響もあり、利用者数は減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症が5類になったことから今後の増加が見込まれます。

なお、自立訓練（機能訓練）についても利用者数に緩やかな減少がみられ、令和4年度（2022年度）から利用者がいなくなった一方、自立訓練（生活訓練）や宿泊型自立訓練については、生活の自立を目的として一定の利用者があるため、概ね横ばいで推移しています。

③今期計画の課題

生活介護（デイサービス）は恒常的に利用されており、引き続き重要サービスとして位置づけて整備することが必要です。

就労移行支援と就労継続支援（A型）については、アンケート調査においても今後の利用意向が高いため、受入先の確保や就労後のフォローのための就労定着支援の活用を含め支援を強化していくことが重要です。また、就労継続支援（B型）についても、令和4年度（2022年度）から利用者数が計画値を上回って推移しており、利用者の就労移行に向けたステップアップが課題となります。

その他、療養介護、宿泊型自立訓練も重要サービスであること、短期入所（ショートステイ）は支援者のレスパイトにも資するので、更なる受入体制の整備が求められます。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
短期入所 (福祉型)	利用日数 (日/月)	計画値	261	270	279	195	221	260
		実績	126	143	156			
	利用人数 (人/月)	計画値	29	30	31	15	17	20
		実績	9	11	13			
うち 重度障がい者	利用人数 (人/月)	計画値				13	14	15
		実績	9	10	12			

が約5割を占めています。

短期入所（福祉型）については、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所が受入れを制限していた影響もあり、利用者数は減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症が5類になったことから今後の増加が見込まれます。

なお、自立訓練（機能訓練）についても利用者数に緩やかな減少がみられ、令和4年度（2022年度）から利用者がいなくなった一方、自立訓練（生活訓練）や宿泊型自立訓練については、生活の自立を目的として一定の利用者があるため、概ね横ばいで推移しています。

③今期計画の課題

生活介護（デイサービス）は恒常的に利用されており、引き続き重要サービスとして位置づけて整備することが必要です。

就労移行支援と就労継続支援A型については、アンケート調査においても今後の利用意向が高いため、受入先の確保や就労後のフォローのための就労定着支援の活用を含め支援を強化していくことが重要です。また、就労継続支援B型についても、令和4年度（2022年度）利用者数が計画値を上回って推移しており、利用者の就労移行に向けたステップアップが課題となります。

その他、療養介護、宿泊型自立訓練も重要サービスであること、短期入所（ショートステイ）は支援者のレスパイトにも資するので、更なる受入体制の整備が求められます。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
短期入所 (福祉型)	利用日数 (日/月)	計画値	261	270	279	221	260	312
		実績	126	143	176			
	利用人数 (人/月)	計画値	29	30	31	17	20	24
		実績	9	11	14			
うち 重度障がい者*	利用人数 (人/月)	計画値				13	14	15
		実績	9	10	12			
短期入所 (医療型)	利用日数 (日/月)	計画値				0	1	1
		実績	0	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値				0	7	7
		実績	0	0	0			

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
短期入所 (医療型)	利用日数 (日/月)	計画値				0	1	1
		実績	0	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値				0	7	7
		実績	0	0	0			
うち 重度障がい者	利用人数 (人/月)	計画値			0	0	1	1
		実績	0	0				
療養介護	利用人数 (人/月)	計画値	4	4	4	3	3	4
		実績	3	3	3			
生活介護 (デイサービス)	利用日数 (日/月)	計画値	2,983	3,021	3,059	3,253	3,272	3,291
		実績	3,131	3,230	3,243			
	利用人数 (人/月)	計画値	157	159	161	174	175	176
		実績	168	173	173			
うち 重度障がい者	利用人数 (人/月)	計画値				80	81	82
		実績	75	77	79			
自立訓練 (機能訓練)	利用日数 (日/月)	計画値	30	30	30	0	12	12
		実績	24	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値	5	5	5	0	1	1
		実績	2	0	0			
自立訓練 (生活訓練)	利用日数 (日/月)	計画値	84	84	84	71	71	71
		実績	83	73	53			
	利用人数 (人/月)	計画値	4	4	4	3	3	3
		実績	4	3	2			
うち 精神障がい者	利用人数 (人/月)	計画値				2	2	2
		実績	2	2	2			
宿泊型自立訓練	利用日数 (日/月)	計画値	60	60	60	60	60	60
		実績	100	84	60			
	利用人数 (人/月)	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績	3	3	2			
就労移行支援	利用日数 (日/月)	計画値	153	153	153	141	161	181
		実績	84	99	119			
	利用人数 (人/月)	計画値	9	9	9	7	8	9
		実績	4	5	6			

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
療養介護	利用人数 (人/月)	計画値	4	4	4	3	3	4
		実績	3	3	3			
生活介護 (デイサービス)	利用日数 (日/月)	計画値	2,983	3,021	3,059	3,191	3,228	3,266
		実績	3,131	3,230	3,157			
	利用人数 (人/月)	計画値	157	159	161	171	173	175
		実績	168	173	169			
うち 重度障がい者*	利用人数 (人/月)	計画値				81	82	83
		実績	75	77	80			
自立訓練 (機能訓練)	利用日数 (日/月)	計画値	30	30	30	0	12	12
		実績	24	0	0			
	利用人数 (人/月)	計画値	5	5	5	0	1	1
		実績	2	0	0			
自立訓練 (生活訓練)	利用日数 (日/月)	計画値	84	84	84	71	71	71
		実績	83	73	56			
	利用人数 (人/月)	計画値	4	4	4	3	3	3
		実績	4	3	2			
うち 精神障がい者	利用人数 (人/月)	計画値				2	2	2
		実績	2	2	2			
宿泊型自立訓練	利用日数 (日/月)	計画値	60	60	60	60	60	60
		実績	100	84	60			
	利用人数 (人/月)	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績	3	3	2			
就労選択支援	利用人数 (人/月)	計画値					1	1
		実績						
就労移行支援	利用日数 (日/月)	計画値	153	153	153	141	161	181
		実績	84	99	119			
	利用人数 (人/月)	計画値	9	9	9	7	8	9
		実績	4	5	6			

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
就労選択支援	利用人数 (人/月)	計画値					1	1
		実績						
就労移行支援	利用日数 (日/月)	計画値	153	153	153	118	138	158
		実績	84	99	112			
	利用人数 (人/月)	計画値	9	9	9	6	7	8
		実績	4	5	6			
就労継続支援 (A型)	利用日数 (日/月)	計画値	160	180	200	246	269	291
		実績	124	189	216			
	利用人数 (人/月)	計画値	8	9	10	11	12	13
		実績	5	9	10			
就労継続支援 (B型)	利用日数 (日/月)	計画値	1,700	1,717	1,734	2,057	2,108	2,159
		実績	1,755	1,862	2,048			
	利用人数 (人/月)	計画値	100	101	102	121	124	127
		実績	104	109	118			
就労定着支援	利用人数 (人/月)	計画値	3	4	5	9	9	9
		実績	6	11	11			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込み値。

⑤取り組みの方向性

本市における日中活動系サービスは比較的充実しており、今後も事業者への各種情報提供を通じてサービスの利用拡大に対応していくよう、不足しているサービスの開始も含め働きかけを行っていきます。また、増大する就労ニーズに応えるため、就労継続支援事業所に対し、就労移行及び定着支援サービスを一括して提供する体制づくりへの取り組みを促すなど、一般就労へつながりやすい新たな方策の検討を事業所と連携して進めます。

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
就労継続支援 A型	利用日数 (日/月)	計画値	160	180	200	240	262	283
		実績	124	189	210			
	利用人数 (人/月)	計画値	8	9	10	11	12	13
		実績	5	9	10			
就労継続支援 B型	利用日数 (日/月)	計画値	1,700	1,717	1,734	2,045	2,096	2,146
		実績	1,755	1,862	1,963			
	利用人数 (人/月)	計画値	100	101	102	121	124	127
		実績	104	109	117			
就労定着支援	利用人数 (人/月)	計画値	3	4	5	9	9	9
		実績	6	11	11			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

※重度障がい者:強度行動障害や高次脳機能障害を有する者又は医療的ケアを必要とする者等

⑤取り組みの方向性

本市における日中活動系サービスは比較的充実しており、今後も事業者への各種情報提供を通じてサービスの利用拡大に対応していくよう、不足しているサービスの開始も含め働きかけを行っていきます。また、増大する就労ニーズに応えるため、就労継続支援事業所に対し、就労移行及び定着支援サービスを一括して提供する体制づくりへの取り組みを促すなど、一般就労へつながりやすい新たな方策の検討を事業所と連携して進めます。

③ 今期計画の課題

今後、計画相談支援へのニーズは更に高まることが予想されます。また、利用者の多様化・複合化する課題に対し、必要とするサービスを的確、かつ効果的・効率的に提供することができるよう、計画相談員の人材確保及び資質向上がより一層必要となっています。一方、地域相談支援は、自立生活援助と同様、地域に移行するための基盤整備と並行して取り組むことが求められます。

④ 実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
計画相談支援	利用人数 (人/年)	計画値	1,080	1,096	1,112	1,100	1,108	1,116
		実績	1,074	1,097	1,092			
地域移行支援	利用人数 (人/年)	計画値	2	3	3	1	1	1
		実績	1	2	0			
うち 精神障がい者	利用人数 (人/年)	計画値	1	1	1	0	0	1
		実績	1	1	0			
地域定着支援	利用人数 (人/年)	計画値	0	0	1	0	0	1
		実績	0	0	0			
うち 精神障がい者	利用人数 (人/年)	計画値	0	0	1	0	0	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤ 取り組みの方向性

障がいのある人が地域で安心して自立した生活を送る上で相談支援は不可欠であることから、利用者がスムーズに計画相談支援を受けられるよう、引き続き相談支援員の人材確保や資質向上を行い、適切なサービスの利用に向けた定期的な計画相談を行います。

また、地域移行支援・地域定着支援は、今まで以上に障がいのある人の生活に密着したものとなり、その支援にあたっては、障がいに関する知識はもちろん、社会的・経済的な知識も必要になる事例が発生することも想定されます。制度活用のため、富津市基幹相談支援センター(えこ)を中心とした市内の相談支援体制を整備し、相談対応の質の向上を含め、サービスの一層の強化を図ります。

③ 今期計画の課題

今後、計画相談支援へのニーズは更に高まることが予想されます。また、利用者の多様化・複合化する課題に対し、必要とするサービスを的確、かつ効果的・効率的に提供することができるよう、計画相談員の人材確保及び資質向上がより一層必要となっています。一方、地域相談支援は、自立生活援助と同様、地域に移行するための基盤整備と並行して取り組むことが求められます。

④ 実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
計画相談支援	利用人数 (人/年)	計画値	1,080	1,096	1,112	1,083	1,086	1,089
		実績	1,074	1,097	1,080			
地域移行支援	利用人数 (人/年)	計画値	2	3	3	2	2	2
		実績	1	2	2			
うち 精神障がい者	利用人数 (人/年)	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1			
地域定着支援	利用人数 (人/年)	計画値	0	0	1	0	0	1
		実績	0	0	0			
うち 精神障がい者	利用人数 (人/年)	計画値	0	0	1	0	0	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤ 取り組みの方向性

障がいのある人が地域で安心して自立した生活を送る上で相談支援は不可欠であることから、利用者がスムーズに計画相談支援を受けられるよう、引き続き相談支援員の人材確保や資質向上を行い、適切なサービスの利用に向けた定期的な計画相談を行います。

また、地域移行支援・地域定着支援は、今まで以上に障がいのある人の生活に密着したものとなり、その支援にあたっては、障がいに関する知識はもちろん、社会的・経済的な知識も必要になる事例が発生することも想定されます。制度活用のため、富津市基幹相談支援センター(えこ)を中心とした市内の相談支援体制を整備し、相談対応の質の向上を含め、サービスの一層の強化を図ります。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第2期			第3期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
児童発達支援	利用日数 (日/月)	計画値	260	260	260	369	394	420
		実績	233	310	334			
	利用人数 (人/月)	計画値	20	20	20	44	47	50
		実績	25	39	42			
放課後等デイ サービス	利用日数 (日/月)	計画値	700	700	700	946	979	1,012
		実績	768	797	919			
	利用人数 (人/月)	計画値	70	70	70	86	89	92
		実績	76	79	83			
居宅訪問型児童 発達支援	利用日数 (日/月)	計画値	0	0	0	11	11	22
		実績	0	4	11			
	利用人数 (人/月)	計画値	0	0	0	1	1	2
		実績	0	1	1			
保育所等訪問 支援	利用日数 (日/月)	計画値	1	1	1	3	3	3
		実績	0	1	2			
	利用人数 (人/月)	計画値	1	1	1	3	3	3
		実績	0	1	2			
障害児相談支援	利用人数 (人/月)	計画値	14	17	20	15	15	15
		実績	11	14	15			
医療的ケア児に 対するコーディネ ーターの配置	配置人数 (人)	計画値	1	1	1	3	3	3
		実績	1	1	3			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

現在君津圏域全体では需要に対応できていますが、障害児通所支援については、利用者、利用日数とも増加傾向にあるため、利便性向上の観点から市内での新規事業所の参入促進を図るなど、身近な地域で支援の必要な児童に適切なサービスが提供できるよう、受入体制の拡大に努めます。

なお、医療的ケア児に対するコーディネーターについては、現在の配置人数の維持に努めます。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第2期			第3期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
児童発達支援	利用日数 (日/月)	計画値	260	260	260	361	385	410
		実績	233	310	327			
	利用人数 (人/月)	計画値	20	20	20	44	47	50
		実績	25	39	42			
放課後等デイ サービス	利用日数 (日/月)	計画値	700	700	700	935	965	996
		実績	768	797	930			
	利用人数 (人/月)	計画値	70	70	70	91	94	97
		実績	76	79	88			
居宅訪問型児童 発達支援	利用日数 (日/月)	計画値	0	0	0	12	12	24
		実績	0	4	12			
	利用人数 (人/月)	計画値	0	0	0	1	1	2
		実績	0	1	1			
保育所等訪問 支援	利用日数 (日/月)	計画値	1	1	1	4	4	4
		実績	0	1	3			
	利用人数 (人/月)	計画値	1	1	1	3	3	3
		実績	0	1	2			
障害児相談支援	利用人数 (人/月)	計画値	14	17	20	15	15	15
		実績	11	14	15			
医療的ケア児に 対するコーディネ ーターの配置	配置人数 (人)	計画値	1	1	1	3	3	3
		実績	1	1	3			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

現在君津圏域全体では需要に対応できていますが、障害児通所支援については、利用者、利用日数とも増加傾向にあるため、利便性向上の観点から市内での新規事業所の参入促進を図るなど、身近な地域で支援の必要な児童に適切なサービスが提供できるよう、受入体制の拡大に努めます。

なお、医療的ケア児に対するコーディネーターについては、現在の配置人数の維持に努めます。

②前期計画期間の概況

成年後見制度利用支援事業については、徐々に制度周知が図られ、各年度利用されており、特に令和4年度(2022年度)は、4件の利用がありました。なお、後見人に対する報酬の支払いに係る費用負担が困難な人への助成については、令和2年度(2020年度)から実施しています。

一方、成年後見制度法人後見支援事業については、富津市社会福祉協議会が「ふつつ成年後見支援センター」を平成27年4月1日に設立し、法人後見事業を実施しています。令和5年4月1日までに17件の法人後見を受任しており、被後見人の権利擁護に努めています。そのほかにも、成年後見に関する相談支援や市民後見人の養成、成年後見制度の啓発事業等が実施されています。

③今期計画の課題

高齢化の進展に伴い、今後は成年後見制度の利用が有用な人が増加することが見込まれるため、成年後見制度利用支援事業の充実が必要です。また、成年後見制度法人後見支援事業についても、ふつつ成年後見支援センターの活動を支援していくことが求められます。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
成年後見制度 利用支援事業	利用人数 (人/年)	計画値	1	2	2	2	2	2
		実績	1	4	2			
成年後見制度法 人後見支援事業	利用件数 (件/年)	計画値				0	0	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

成年後見制度利用支援事業は利用実績が少ないものの、潜在的なニーズは多いと考えられることから、いつでも対応が可能となるように情報の収集や市職員の知識の習得に努めます。

また、今後中核機関として機能拡充したふつつ成年後見支援センターの実現に向けて、既存で行っている業務内容について、不足分についての洗い出しを行い、それらを解決する方法について富津市社会福祉協議会と協議を進めます。

②前期計画期間の概況

成年後見制度利用支援事業については、徐々に制度周知が図られ、各年度利用されており、特に令和4年度(2022年度)は、4件の利用がありました。なお、後見人に対する報酬の支払いに係る費用負担が困難な人への助成については、令和2年度(2020年度)から実施しています。

一方、成年後見制度法人後見支援事業については、富津市社会福祉協議会が「ふつつ成年後見支援センター」を平成27年4月1日に設立し、法人後見事業を実施しています。令和5年4月1日までに17件の法人後見を受任しており、被後見人の権利擁護に努めています。そのほかにも、成年後見に関する相談支援や市民後見人の養成、成年後見制度の啓発事業等が実施されています。

③今期計画の課題

高齢化の進展に伴い、今後は成年後見制度の利用が有用な人が増加することが見込まれるため、成年後見制度利用支援事業の充実が必要です。また、成年後見制度法人後見支援事業についても、ふつつ成年後見支援センターの活動を支援していくことが求められます。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
成年後見制度 利用支援事業	利用人数 (人/年)	計画値	1	2	2	2	2	2
		実績	1	4	1			
成年後見制度法 人後見支援事業	利用件数 (件/年)	計画値				0	0	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

成年後見制度利用支援事業は利用実績が少ないものの、潜在的なニーズは多いと考えられることから、いつでも対応が可能となるように情報の収集や市職員の知識の習得に努めます。

また、今後中核機関として機能拡充したふつつ成年後見支援センターの実現に向けて、既存で行っている業務内容について、不足分についての洗い出しを行い、それらを解決する方法について富津市社会福祉協議会と協議を進めます。

④実績と今期計画

サービス名			年度		第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)		
手話通訳者派遣 事業	派遣件数 (件/年)	計画値	11	11	11	122	122	122		
		実績	26	81	122					
	派遣人数 (人/年)	計画値	15	15	15	123	123	123		
		実績	27	84	123					
要約筆記者派遣 事業	派遣件数 (件/年)	計画値	1	1	1	0	1	1		
		実績	0	0	0					
	派遣人数 (人/年)	計画値	1	1	1	0	1	1		
		実績	0	0	0					
手話奉仕員養成 研修事業	受講人数 (人/年)	計画値	2	2	2	2	2	2		
		実績	1	3	3					

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業は、いつでも対応可能なように体制の整備を継続していきます。一方、手話奉仕員養成研修事業は、受講者を増やすため聴覚障がい者団体やボランティア団体と連携して制度の周知や啓発活動等の強化に努めます。

(5) 日常生活用具給付等事業

①事業の概要

障がいのある人に対して、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活における利便の向上を図ります。

④実績と今期計画

サービス名			年度		第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)		
手話通訳者派遣 事業	派遣件数 (件/年)	計画値	11	11	11	109	109	109		
		実績	26	81	109					
	派遣人数 (人/年)	計画値	15	15	15	111	111	111		
		実績	27	84	113					
要約筆記者派遣 事業	派遣件数 (件/年)	計画値	1	1	1	0	1	1		
		実績	0	0	0					
	派遣人数 (人/年)	計画値	1	1	1	0	1	1		
		実績	0	0	0					
手話奉仕員養成 研修事業	受講人数 (人/年)	計画値	2	2	2	2	2	2		
		実績	1	3	3					

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業は、いつでも対応可能なように体制の整備を継続していきます。一方、手話奉仕員養成研修事業は、受講者を増やすため聴覚障がい者団体やボランティア団体と連携して制度の周知や啓発活動等の強化に努めます。

(5) 日常生活用具給付等事業

①事業の概要

障がいのある人に対して、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活における利便の向上を図ります。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
介護・訓練支援 用具	利用件数 (件/年)	計画値	2	2	2	4	4	4
		実績	5	2	4			
自立生活支援 用具	利用件数 (件/年)	計画値	5	5	5	9	9	9
		実績	7	7	9			
在宅療養等支援 用具	利用件数 (件/年)	計画値	10	10	10	43	43	43
		実績	42	35	43			
情報・意思疎通 支援用具	利用件数 (件/年)	計画値	4	4	4	6	6	6
		実績	10	5	4			
排せつ管理支援 用具	利用件数 (人/年)	計画値	107	106	105	125	125	125
		実績	125	120	124			
居住生活動作 補助用具	利用件数 (件/年)	計画値	2	2	2	1	1	1
		実績	0	0	1			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

引き続き、制度の周知を図り、障がいのある人の日常生活における利便性の向上に努めます。

(6) 移動支援事業

①事業の概要

屋外での移動が困難な障がいのある人に対して外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促進します。

サービス名	概要
移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある人に対して、余暇活動や買い物などの外出支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促します。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
介護・訓練支援 用具	利用件数 (件/年)	計画値	2	2	2	3	3	3
		実績	5	2	1			
自立生活支援 用具	利用件数 (件/年)	計画値	5	5	5	6	6	6
		実績	7	7	4			
在宅療養等支援 用具	利用件数 (件/年)	計画値	10	10	10	32	32	32
		実績	42	35	28			
情報・意思疎通 支援用具	利用件数 (件/年)	計画値	4	4	4	6	6	6
		実績	10	5	5			
排せつ管理支援 用具	利用件数 (人/年)	計画値	107	106	105	125	125	125
		実績	125	120	123			
居住生活動作 補助用具	利用件数 (件/年)	計画値	2	2	2	1	1	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

引き続き、制度の周知を図り、障がいのある人の日常生活における利便性の向上に努めます。

(6) 移動支援事業

①事業の概要

屋外での移動が困難な障がいのある人に対して外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促進します。

サービス名	概要
移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある人に対して、余暇活動や買い物などの外出支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促します。

②前期計画期間の概況

移動支援事業については、令和2年度（2020年度）以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって大きく利用者が減少しており、計画値を下回って推移しています。

③今期計画の課題

屋外での移動が困難な障がい者（児）に対して、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を支援することは必要となることから、引き続き移動支援事業実施体制を整備しておくことが重要となりますが、市内にはサービス事業者が少ないことから、今後は利用者の状況やニーズに応じた柔軟な形態で対応すべく、新たな担い手の確保が必要です。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
移動支援事業	利用時間 (時間/月)	計画値	483	483	483	235	235	235
		実績	235	256	223			
	利用人数 (人/月)	計画値	50	50	50	24	24	24
		実績	25	25	23			

(注) 令和5年度（2023年度）の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつある中で、引き続き外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を支援していきます。このため、事業の担い手の確保に向けて、既存事業者への事業拡大の働きかけと併せて、本章2.(1)(居宅サービスの体制整備)と同様に検討を進めます。

(7) 地域活動支援センター事業

①事業の概要

地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの機能を充実強化するため、下表の事業を行います。

②前期計画期間の概況

移動支援事業については、令和2年度（2020年度）以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって大きく利用者が減少しており、計画値を下回って推移しています。

③今期計画の課題

屋外での移動が困難な障がい者（児）に対して、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を支援することは必要となることから、引き続き移動支援事業実施体制を整備しておくことが重要となりますが、市内にはサービス事業者が少ないことから、今後は利用者の状況やニーズに応じた柔軟な形態で対応すべく、新たな担い手の確保が必要です。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
移動支援事業	利用時間 (時間/月)	計画値	483	483	483	234	234	234
		実績	235	256	219			
	利用人数 (人/月)	計画値	50	50	50	24	24	24
		実績	25	25	23			

(注) 令和5年度（2023年度）の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつある中で、引き続き外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を支援していきます。このため、事業の担い手の確保に向けて、既存事業者への事業拡大の働きかけと併せて、本章2.(1)(居宅サービスの体制整備)と同様に検討を進めます。

(7) 地域活動支援センター事業

①事業の概要

地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの機能を充実強化するため、下表の事業を行います。

サービス名	概要
地域活動支援センター I 型	専門員（精神保健福祉士等）を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整や地域ボランティアの育成等を行います。
地域活動支援センター II 型	雇用・就労が困難な在宅の障がいのある人に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを行います。
地域活動支援センター III 型	地域の障がいのある人の援護対策として、地域の障がい者団体等が実施する通所による援護事業等を行います。

②前期計画期間の概況

I 型は、近隣地域では該当施設がケアセンターさつき（袖ヶ浦市）の1箇所であるため、君津地域4市の共同委託で実施しており、計画値を上回って利用されています。

II 型は、令和3年度（2021 年度）中に介護保険の移行など他サービスへ利用者が移行したため、令和4年度（2022 年度）以降は実績がありませんでした。

III 型は、事業所の廃止もあり、令和4年度（2022 年度）以降は計画値を下回って利用されています。

③今期計画の課題

I 型は、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に繋がる取り組みとなりますので、今後も積極的に利用を促すことが必要です。II 型及びIII 型は、生活介護や自立訓練等、同種のサービスが展開されていることから、利用者の希望に沿ったサービスの選択を適切に行うことが必要です。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
地域活動支援センター I 型	利用人数 (人/月)	計画値	7	9	9	16	16	17
		実績	15	16	15			
地域活動支援センター II 型	利用人数 (人/月)	計画値	5	5	5	0	0	0
		実績	3	0	0			
地域活動支援センター III 型	利用人数 (人/月)	計画値	7	7	7	5	5	5
		実績	7	5	5			

(注) 令和5年度（2023 年度）の実績は見込値。

サービス名	概要
地域活動支援センター I 型	専門員（精神保健福祉士等）を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整や地域ボランティアの育成等を行います。
地域活動支援センター II 型	雇用・就労が困難な在宅の障がいのある人に対し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを行います。
地域活動支援センター III 型	地域の障がいのある人の援護対策として、地域の障がい者団体等が実施する通所による援護事業等を行います。

②前期計画期間の概況

I 型は、近隣地域では該当施設がケアセンターさつき（袖ヶ浦市）の1箇所であるため、君津地域4市の共同委託で実施しており、計画値を上回って利用されています。

II 型は、令和3年度（2021 年度）中に介護保険の移行など他サービスへ利用者が移行したため、令和4年度（2022 年度）以降は実績がありませんでした。

III 型は、事業所の廃止もあり、令和4年度（2022 年度）以降は計画値を下回って利用されています。

③今期計画の課題

I 型は、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に繋がる取り組みとなりますので、今後も積極的に利用を促すことが必要です。II 型及びIII 型は、生活介護や自立訓練等、同種のサービスが展開されていることから、利用者の希望に沿ったサービスの選択を適切に行うことが必要です。

④実績と今期計画

サービス名		年度	第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)
地域活動支援センター I 型	利用人数 (人/月)	計画値	7	9	9	16	16	17
		実績	15	16	16			
地域活動支援センター II 型	利用人数 (人/月)	計画値	5	5	5	0	0	0
		実績	3	0	0			
地域活動支援センター III 型	利用人数 (人/月)	計画値	7	7	7	5	5	5
		実績	7	5	4			

(注) 令和5年度（2023 年度）の実績は見込値。

②前期計画期間の概況

任意事業の利用実績は、一部計画期間中の利用がない事業や計画値を下回って推移している事業もありますが、全体的には概ね計画どおりの利用となっており、底堅い利用ニーズがあることがうかがえます。

③今期計画の課題

今後もサービスの必要性等を踏まえながら計画を立案していくことが求められます。

なお、知的障害者職親委託制度事業は、委託終了後に本人の就業状況と定着状況、生活状況をアウトカムとして評価を行い、事業の効果を高めることが重要です。

一方、巡回支援専門員整備事業（療育等支援事業）の来所人数が増加傾向となっており、ニーズに対応するため、事業拡大を図る必要があります。さらに、訪問入浴サービスや雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業については、利用ニーズを把握し、整備を進めることが必要です。

なお、前期計画の令和3年度（2021年度）から訪問入浴サービス事業を開始していますが、まだ利用者が少ない状況となっているため、引き続き事業の周知を図っていく必要があります。

④実績と今期計画

サービス名			年度		第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)		
知的障害者職親委託制度事業	利用件数 (件/年)	計画値	2	2	2	2	2	2	2	
		実績	2	1	1					
日中一時支援事業	利用日数 (日/月)	計画値	270	293	315	331	339	347		
		実績	225	287	324					
	利用人数 (人/月)	計画値	38	38	38	42	43	44		
		実績	33	42	41					
障害者自動車改造費助成	利用件数 (件/年)	計画値	1	1	1	1	1	1		
		実績	4	2	1					
障害者運転免許取得費助成	利用件数 (件/年)	計画値	1	1	1	1	1	1		
		実績	1	0	1					

②前期計画期間の概況

任意事業の利用実績は、一部計画期間中の利用がない事業や計画値を下回って推移している事業もありますが、全体的には概ね計画どおりの利用となっており、底堅い利用ニーズがあることがうかがえます。

③今期計画の課題

今後もサービスの必要性等を踏まえながら計画を立案していくことが求められます。

なお、知的障害者職親委託制度事業は、委託終了後に本人の就業状況と定着状況、生活状況をアウトカムとして評価を行い、事業の効果を高めることが重要です。

一方、巡回支援専門員整備事業（療育等支援事業）の来所人数が増加傾向となっており、ニーズに対応するため、事業拡大を図る必要があります。さらに、訪問入浴サービスや雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業については、利用ニーズを把握し、整備を進めることが必要です。

なお、前期計画の令和3年度（2021年度）から訪問入浴サービス事業を開始していますが、まだ利用者が少ない状況となっているため、引き続き事業の周知を図っていく必要があります。

④実績と今期計画

サービス名			年度		第6期			第7期		
			令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)		
知的障害者職親委託制度事業	利用件数 (件/年)	計画値	2	2	2	1	1	1		
		実績	2	1	1					
日中一時支援事業	利用日数 (日/月)	計画値	270	293	315	343	351	359		
		実績	225	287	335					
	利用人数 (人/月)	計画値	38	38	38	43	44	45		
		実績	33	42	42					
障害者自動車改造費助成	利用件数 (件/年)	計画値	1	1	1	1	1	1		
		実績	4	2	1					
障害者運転免許取得費助成	利用件数 (件/年)	計画値	1	1	1	1	1	1		
		実績	1	0	1					

巡回支援専門員 整備事業(療育等 支援事業)	来所人数 (人/年)	計画値	80	80	80	98	98	98
		実績	136	109	87			
	巡回訪問回数 (回数/年)	計画値	19	19	19	24	24	24
		実績	19	20	23			
訪問入浴サービス 事業	利用人数 (人/月)	計画値	12	24	24	2	2	2
		実績	1	2	1			
雇用施策との連携 による重度障害者 等就労支援特別 事業	利用人数 (人/月)	計画値	0	0	1	0	0	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

利用者のニーズを踏まえ、柔軟に対応していきます。特に、日中一時支援事業は家族等への負担軽減や一時的な休息の提供を図るサービスであり、「支援者への支援」(第2章3.(9))のための重要なサービスであることから、周知を図るとともに、サービス事業者と協議し、内容の充実に努めていきます。

巡回支援専門員 整備事業(療育等 支援事業)	来所人数 (人/年)	計画値	80	80	80	98	98	98
		実績	136	109	87			
	巡回訪問回数 (回数/年)	計画値	19	19	19	24	24	24
		実績	19	20	19			
訪問入浴サービス 事業	利用人数 (人/月)	計画値	12	24	24	3	3	3
		実績	1	2	1			
雇用施策との連携 による重度障害者 等就労支援特別 事業	利用人数 (人/月)	計画値	0	0	1	0	0	1
		実績	0	0	0			

(注) 令和5年度(2023年度)の実績は見込値。

⑤取り組みの方向性

利用者のニーズを踏まえ、柔軟に対応していきます。特に、日中一時支援事業は家族等への負担軽減や一時的な休息の提供を図るサービスであり、「支援者への支援」(第2章3.(9))のための重要なサービスであることから、周知を図るとともに、サービス事業者と協議し、内容の充実に努めていきます。

日付	実施内容
令和5年(2023年)11月22日	第3回富津市障害者総合支援協議会 ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)策定に伴うアンケート調査結果報告について ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)(素案)の説明及び検討について

日付	実施内容
令和5年(2023年)11月22日	第3回富津市障害者総合支援協議会 ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)策定に伴うアンケート調査結果報告について ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)(素案)の説明及び検討について
令和5年(2023年)12月11日	庁議 ・「いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)」に係るアンケート結果報告及び計画(素案)について
令和5年(2023年)12月19日	全員協議会 ・「いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)」に係るアンケート結果報告及び計画(素案)について
令和5年(2023年)12月27日 ～令和6年(2024年)1月26日	パブリックコメント実施 ・寄せられた意見0件
令和6年(2024年)2月2日	第4回いきいきふっつ障がい者プラン検討委員会 ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)(最終案)について
令和6年(2024年)2月5日	庁議 ・パブリックコメント結果の報告
令和6年(2024年)2月8日	第4回富津市障害者総合支援協議会 ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)(最終案)について
令和6年(2024年)3月12日	庁議 ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)について
令和6年(2024年)3月19日	全員協議会 ・いきいきふっつ障がい者プラン第7期障害福祉計画(第3期障害児福祉計画)について